

Study of BABEL

東京藝術大学COI拠点は、芸術と科学技術の融合によって、感動を創出する次世代のインフラとなる豊かな文化的コンテンツの開発・研究をおこない、文化教育コンテンツの社会実装ならびに国際関係の構築に資する文化外交アイテムの社会実装を目指しています。このたび、東京藝術大学COI拠点が特別協力する、ボイマンス美術館所蔵ブリューゲル「バベルの塔」展(東京都美術館)にあわせ、関連企画として、本拠点主催で「Study of BABEL」展を開催いたします。東京藝術大学 Arts & Science LAB. 1階を会場に、芸術と科学技術の融合による新しい芸術表現を是非お楽しみください。



Content
1

立体化した「バベルの塔」で 昼と夜の世界を体感!!

3メートルを超えた大きさで立体化したバベルの塔を公開します。バラエティに富んだ映像技術を駆使し、ピーテル・ブリューゲル1世の世界に迫ります。

バベルの塔に流れる時間。夜が更けた時、塔はどんな姿をしているのでしょうか。本作品に描かれている平均的な大きさの人間の身長を約170cmと仮定して算出すると、バベルの塔の高さは約510mということがわかりました。本展では、およそ150分の1に立体化したバベルの塔の、昼と夜の様子を描き出します。

昼の時間では、空をたゆたう雲のもと、精巧に削り出されたバベルの塔を眺めることができます。耳をすませると、人々の息遣いが聞こえてきます。穴の中では不思議なことが起こっているかも…賑やかな昼の裏側では、静寂に包まれた夜のバベルが浮かび上がります。建造されていく塔の未来に思いをはせる人々の、はかなくも希望に満ちた思いを垣間見ることができます。

立体、マッピング、アクチュエータ、ネットワークといった多彩なメディアを通して、バベルの塔に流れる時間を体感してください。

Content
2

科学分析結果をもとに「バベルの塔」の クローン文化財を制作!!

美しい色彩が印象的な「バベルの塔」。ブリューゲルはどのような絵具で、またどのような筆遣いで絵を描いたのでしょうか?空の青、海の青、レンガの赤、漆喰の白。昨夏、デルフト工科大学が開発した高分解能の蛍光X線分析装置を用いて「バベルの塔」の科学調査が行われ、作品の特徴的な組成分布や用いられている材料などが明らかになりました。それらの結果をもとに、現在、東京藝術大学COI拠点は、色味や質感、筆のタッチや凹凸だけでなく、材料や組成分布までもオリジナルに近づける新たな試みによるクローン文化財(高精細複製画)の制作に取り組んでいます。デジタル技術とアナログ技術を融合することによって実現した、複製や再現を超えた「バベルの塔」のクローン文化財を是非その目でご覧ください!



museum B van boijmans van beuningen Museum Boijmans Van Beuningen, Rotterdam, The Netherlands

Arts & Science LAB.より徒歩約3分

「バベルの塔」展にも是非足をお運びください!

[会場] 東京都美術館 企画展示室 〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
開催日程、休館日は本展と同様 [開室時間] 9:30~17:30、金曜日は20:00まで(入室は閉室の30分前まで)
[主催] 東京都美術館、朝日新聞社、TBS、BS朝日 [公式サイト] <http://babel2017.jp>

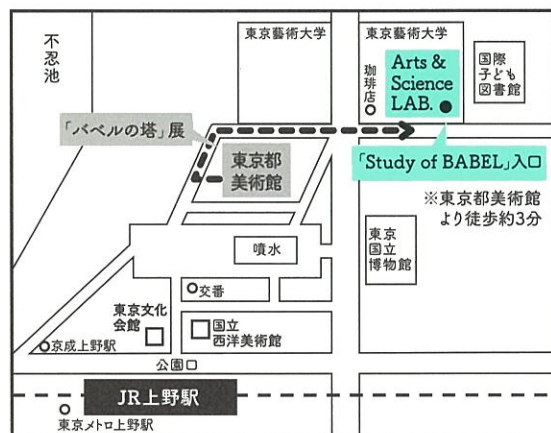
ボイマンス美術館所蔵「バベルの塔」展
ブリューゲル
BABEL
Collection of Museum Boijmans Van Beuningen, Rotterdam, The Netherlands and Gemäldegalerie Staatliche Museen
16世紀ネーデルラントの至宝 - ボスを超えて -

交通案内 Access

東京藝術大学COI拠点 Arts & Science LAB. 1F エントランスギャラリー (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)

JR 上野駅・鶯谷駅より 徒歩10分
東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅より 徒歩15分
千代田線・根津駅 下車より 約10分
京成電鉄 京成上野駅より 徒歩15分
都営バス 上26系統(亀戸—上野公園)谷中バス停より 徒歩約3分
台東区循環バス 東西めぐりん東京芸術大学バス停より 徒歩1分

問合せ先 03-5777-8600(ハローダイヤル)



※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。